

# Forest 群馬県森連時報

vol.498

【発行所】  
群馬県森林組合連合会  
前橋市上大島町182-20  
TEL.027(261)0615(代)

【制作・印刷】  
株式会社総合PR  
前橋市元総社町936-4  
TEL.027(253)8331(代)

## INDEX

森林組合監事研修 開催	1	森林組合監査士試験 県森連 江角主任 合格	5
森林組合林産・販売担当者会議(Web) 開催	2	森林組合ニューフェイス	6
労働安全及び災害・事故防止対策緊急会議 (Web) 開催	2	森林組合人事異動(課長級以上)	7
令和2年度・令和3年度「緑の雇用」事業	3	群馬県環境森林部人事異動	7
令和2年度 ぐんま林業就業支援研修 開催	3~4	県森連 人事異動及び機構改正	7~8
利根沼田森林組合 安全大会 開催 ~危険予知 指差し呼称で ゼロ災害~	4~5	あとがき	8

## 森林組合監事研修 開催

去る、3月19日に「森林組合監事研修」が群馬県勤労福祉センター第1・2会議室において総勢36名の参加で開催された。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止から開催を見送ったが、今回は拡大防止対策を講じて約2年ぶりの開催となった。

最初に、県森連 指導部 高橋部長より「監事監査のポイントと具体的監査手続き」と題し組織監査、運営監査、会計監査それぞれについての、目的、視点や具体的な確認事項のポイント等次項のとおり説明があった。

### I、組織監査

- ① 組員管理
- ② 人事労務管理
- ③ 労働安全衛生管理
- ④ 定款諸規程類管理



▲県森連 高橋部長



▲林業振興課 新井補佐

### II、運営監査

- ① 事業実績進捗管理
- ② 事業契約締結・実行に係る事務処理の流れの確認
- ③ 協力事業体への業務発注管理

### III、会計監査

- ① 年度損益の内容と妥当性の確認
- ② 資産査定 実施状況の確認
- ③ 経理規程と内部牽制状況の確認

次に群馬県環境森林部林業振興課 新井補佐より「森林組合常例検査の主な着眼点と指摘事項の改善について」と題し次項について説明があった。

### I、根拠法令

### II、関係法令

- ① 検査規則
- ② 検査要領
- ③ 検査実施計画

### III、検査の流れ

- ① 検査事項
- ② R1,R2指摘事項



▲監事研修会



## 森林組合林産・販売担当者会議(Web) 開催

去る、3月23日に県内森林組合の林産・販売担当者ら30名の参加により「森林組合林産・販売担当者会議」を開催した。

今回は新型コロナウイルス感染症対策としてリモート会議として開催した。

初めに県森連 高橋指導部長より「最近の木材需要の動向」と題し、2020年のコロナ禍における国産材丸太の全国各地の需要の動向や丸太価格の急落・高騰の状況のほか、外材の需要動向や群馬県の系統材の供給情報について説明が行われた。

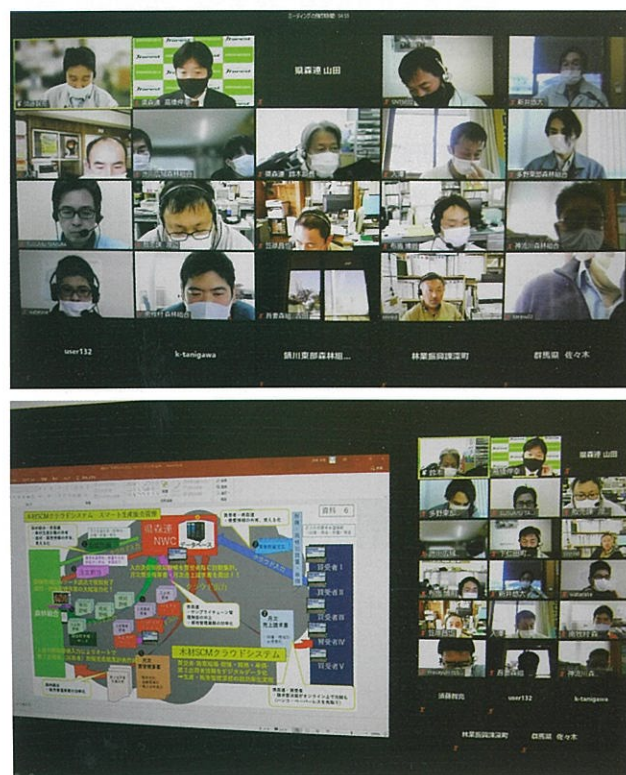
次に県森連 販売課渡辺課長代理より「R2系統販売実績について」と題し、前橋共販所や直送協定販売の実績報告や桐生木材ヤードと神流町麻生ヤードの稼働・運営状況について説明が行われた。また、渋川県産材センター 田村所長より渋川県産材センターの素材入荷状況やAB材入荷量及びセンター加工品販売実績についての説明も行われた。

会議の後半には県森連 木材部鈴木部長より今後の直送協定販売の見通しとして、県内製材工場の規格別需要状況や需要のピークに合わせた各森林組合の素材生産計画の調整・検討をお願いした。

最後の議題では、「木材SCMクラウドシステム」の活用状況と今後の実用についての検討課題を共有した。

今回、県内の森林組合系統として初めてWeb会議の開催を試みたが、予想以上に参加者も多く、従来の会議に比べ参加者

の表情までよく見え、意見や質問も多くあげられるなど活発的な会議となった。今後もコロナ対策を踏まえ、各種会議・研修会・打合せにWebでのリモート開催を実施していきたい。



▲販売担当者会議(web)

## 労働安全及び災害・事故防止対策緊急会議(Web) 開催

群馬県内の林業現場で労働災害が多発している事態を受け、群馬県が令和3年3月8日に『群馬県林業作業現場の災害・事故多発警報』を発令した。

令和2年度に県内森林組合においても休業4日以上の労働災害が10件発生し極めて憂慮すべき事態となっている。だが、警報発令後の3月31日にも労働災害が発生してしまったことを受け、県森連では4月13日に労働安全及び災害・事故防止対策緊急会議(Web)を開催した。

会議には、急な開催ではあったが常勤役員等の経営管理者や県職員ら36名が参加した。県森連 鈴木専務の挨拶に続き、群馬県環境森林部 森林局 林業振興課 高山課長より、『群馬県林業作業現場の災害・事故多発警報』発令の経緯や伐木作業における安全手順の遵守・適切なかかり木処理の徹底・ツールボックスミーティング(TBM)や危険予知活動(KYK)の着実な実施等の重点取組課題について説明があった。

次に県森連 梶川課長代理より3月31日に発生した労働災害の現地聴取をもとに、「災害発生現場は45度程度の急斜面でヒノキのかかり木処理中、かかった木の元口が外れ伐倒木が急斜面を滑り落ち、伐倒方向が変わったことにより先端付近

が退避中の被災者の腰に激突した。」と災害発生状況を報告した。この災害での未然防止対策としては、かかり木処理は牽引機を使用するほか、作業者間での連絡、応援の要請、安否の確認に無線機等を活用する対策が必要であったと考えられる。

なお、この会議を受け、改めて各森林組合での災害・事故多発警報への対応としての安全対策等について報告いただき、この内容を森林組合間において早期に情報共有し、森林組合全体の安全対策の徹底に努めていきたい。



▲安全対策緊急会議(web)

## 令和2年度・令和3年度「緑の雇用」事業

令和2年度「緑の雇用」新規就業者育成推進事業の集合研修は新型コロナウイルス感染症の影響により1ヶ月遅れての開始となり、日程調整や研修会場等での感染症対策に苦慮したものの、令和3年1月12日のフォレストワーカー(FW)3年目研修実施をもって、FW1~3年目集合研修の全日程を終了した。3年目修了者17名についてはFWの大臣登録の申請を行った。今後それぞれの経営体での活躍が期待される。

また、令和2年度の実地研修(OJT研修)では全国的にも重大災害(2人死亡、1人意識不明)を含む労働災害が多発し、憂慮すべき事態となってしまった。「緑の雇用」事業では研修生のOJT研修等における労働安全を確保するため、労働災害が多発する作業等に関する安全指導方針を定めており、各林業経営体や研修生に対し周知を図っているところだが残念ながら未だ完全に浸透していないのが現状である。

今後、監督検査や集合研修等で安全指導方針についてより一層の周知を図り1件でも労働災害が減るよう努めていきたい。



▲集合研修(講義)

令和3年度事業については、既に登録申請を行い、FW1年目28名(うち女性1名)、2年目18名(うち女性1名)、3年目10名、フォレストリーダー(FL)研修24名、フォレストマネージャー(FM)研修6名が承認された。なお、令和2年度補正では4月~5月にトライアル(TR)雇用研修を実施し、引き続き令和3年度事業で6月から8ヶ月間のFW1~3年目研修を実施する。また、FL研修については、7月から実施され、指導力強化のための新カリキュラムが導入される。なお、FM研修は例年通りブロック開催となる。

令和2年度補正・令和3年度事業では、林業経営体が新たに造林事業に取り組む、もしくは拡大して行う場合に、造林作業の経験のない林業従事者に造林作業の基本的な知識・技術を習得させるための多技能化研修や他産業従事者が山間部での定着を希望し、一定期間林業の就業実態等の把握や基礎的な作業を体験させるためのTR雇用研修を実施する。



▲集合研修(実地研修)

## 令和2年度 ぐんま林業就業支援研修 開催

群馬県では県内の林業就業を希望する方を対象に、平成23年度からぐんま林業学校(林業基礎研修)を実施してきたが、令和元年度よりぐんま林業就業支援研修と事業名を変更し実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により離職された方を優先に林業に興味のある方、群馬県の豊かな自然の中で働きたいと考えている方を対象に、緊急雇用対策として5日間の研修を8月と9月に、9日間の研修を1月に実施した。

緊急雇用対策では、まず7月23日に8月・9月の研修参加者を集め、ぐんま林業就業ガイダンスを実施し、群馬県の森林・林業の現状や林業の現場作業についてや、専門のアドバイザーによる林業就業に向けての心構え等の講義、5日間の研修内容についての説明を行った。実地研修は伐木造材作業の特別教育と刈払機作業安全衛生教育の資格取得や、県

内林業経営体での現場作業体験等を内容とし実施した。この2回の研修に8月は4名、9月は5名が参加したが、うち4名が県内林業経営体へ就業することとなった。



▲チェーンソー講習



また、1月24日から2月4日までの9日間の研修は資格取得や、県が9月に導入した伐倒練習機(油圧ジャッキにより伐倒木の足場回りの角度を0度から25度まで自由に設定でき、伐倒対象木も前後左右に角度の調節が可能)を使い、実際の現場作業に近い環境でのチェーンソー作業を反復練習する研修、県内の林業経営体での3日間の現場作業体験、意見交換会、就業相談を内容とし実施した。最終日に行われた意見交換会では現場作業に従事している渋川広域森林組合の大塚貴寛氏とわたらせ森林組合の福田和希氏を迎えて、両氏の体験談を聴いて研修生からも質問するなど意見交換した。

この体験談の中で大塚氏からは「整備されていない山林を枝打ち等の手入れをして、きれいになった状態で山主さんに返せることにやりがいを感じている」。福田氏からは「きれいになった山林を見て充実感や達成感を感じる。また、夏場は3時終わりなので子供のお迎えなどもできて、時間に余裕が出来て良かった」などの話があった。参加者からは、「実地

研修の3日間怪我もなく研修出来て良かった」、「林業の仕事は多岐に渡るので3日間の研修では足りない」、「現場作業は危険で大変な作業だと実感できた」などの感想があった。なお、この研修に県内外から4名が参加したが、うち2名が県内林業経営体への就業につながった。



▲伐倒練習機を用いた研修

## 利根沼田森林組合 安全大会 開催

～危険予知 指差し呼称で ゼロ災害～

利根沼田森林組合では令和2年度安全大会を3月12日に開催した。同森林組合では、これまでも沼田労働基準監督署、利根沼田環境森林事務所、林災防群馬県支部や県森連等から外部講師を招き、全常勤役員と一部協力事業者の参加により、毎年度3月に安全大会を開催している。今回は新型コロナウイルス感染防止の観点から外部講師は県森連のみの参加となった。

安全大会の冒頭式辞で外山組合長が「本日12日は山の神様である十二様を崇め、山仕事の休日とし安全祈願する十二講の風習が古くからあり、この日にあらためて林業現場における安全作業を再考し、今後も安全第一で作業に取り組んでいただきたい。」と述べた。



▲外山組合長挨拶

安全研修ではまず同組合佐藤専務が「林業現場作業の安全について」と題し講義した。佐藤専務は安全衛生指導にかかる既存資料に加え、ご自分で現場撮影された伐採作業等の写真や動画を活用し、安全作業のポイントについて熱心に丁寧に説明した。

次に県森連指導部長高橋が、労働災害の現状や林業労働の背景と林業労働を防ぐための安全対策について講義し、さらに同組合が実践しているSGEC森林認証をはじめとしたSDGsの取組について、このコンプライアンス態勢としての有意性について説明し共有させていただいた。



▲佐藤専務による講義

大会の最後には職員から募集した安全標語についての表彰があった。

- 最優秀賞 ●  
「危険予知 指差し呼称で ゼロ災害」 吉田 正
- 優秀賞 ●  
「ぬかり無い 正しい姿勢で 安全作業」 角田 道生  
「声に出す 指差し呼称が 身を守る」 小嶋 一啓



▲安全標語表彰

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 健全な労働と経済を	3 持続可能な消費と生産	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と雇用創出の促進	10 人や国を超えて公正で包摂的な社会を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つるぎある消費
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

SDGsの木製ピンバッジご購入のご相談をお受けしております

**SDGs (持続可能な開発目標) とは?**  
SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の頭文字から生まれた造語です。2015年の国連サミットで採択された国際目標で、持続可能な開発目標として17のゴールと169のターゲットから構成されています。

## 森林組合監査士試験 県森連 江角主任 合格

森林組合監査士試験は森林組合法に基づき森林組合連合会が行う会員監査の従事にあたり必要な資格であり、全国森林組合連合会が毎年実施している。

この試験では、森林組合監査士に必要な学識及び経験並びにその应用能力を有するかどうかを判定することを目的とし、監査(理論・実務)、会計学、簿記、法規、協同組合論・森林組合論の五科目の試験が行われる。

昨年12月に行われた監査士試験では、全国の森林組合系統職員ら71名が試験に臨み、23名が合格した。

このうち県内から県森連 総務課 江角主任が合格した。県内森林組合系統の合格者は、森林組合の4名とあわせ10名となった。

今回合格した江角主任は「森林組合監査士の役割を十分

に果たせるよう頑張っていきたい」と意欲を見せている。今後も森林組合系統の経営基盤強化等に繋げるよう監査士の増員を図って行きたい。



▲森林組合監査士に合格した江角主任

森林に優しい

チェーンソー専用オイル

植物油生分解性オイル

YSバイオチェーンオイル

特許 第3513132号

服に付いた油汚れが洗剤で落とせる抜群のスベリでチェーンやバーの摩耗を防ぐ  
 荷姿 / 4Lポリ・18L缶(オールシーズンタイプ) ※エンジンオイル・食用油としては、使用できません。



### 森林組合ニューフェイス

令和2年度から現在にかけて森林組合に就職された職員の皆さんを紹介します。

氏名 ①所属部署・担当 ②就職年月日 ③趣味・特技 ④抱負を一言

#### 【桐生広域森林組合】



富澤 ゆめの

- ①総務部 総務課
- ②R3/4/1
- ③読書
- ④1日でも早く仕事を覚え、組合のお役に立てるよう、日々努力していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

#### 【神流川森林組合】



斉藤 誠

- ①業務課
- ②R2/11/1
- ③趣味:海外旅行  
特技:簡単なベトナム語(会話)
- ④前職は北海道の森林組合に勤めておりました。群馬県と北海道の林産施業方法の違いに悪戦苦闘の毎日です。新天地で良い山づくりが出来るよう日々精進していきます。

#### 【下仁田町森林組合】



赤澤 風音

- ①指導課
- ②R3/4/1
- ③キャンプ
- ④より多くのことを先輩から吸収し、組合・地域に貢献できるよう、日々の仕事に取り組んでいきます。

#### 【烏川流域森林組合】



江口 悟

- ①指導課
- ②R3/4/1
- ③園芸・工作
- ④調査等で自然の中へ身を投じることは楽しく、自分の好きなことを仕事にできたと実感しております。まだ覚えることがたくさんありますが早く地域のお役に立てるように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

#### 【吾妻森林組合】



剣持 志穂

- ①総務課
- ②R2/7/1
- ③映画鑑賞
- ④一日でも早く仕事を覚えて、組合に貢献できるように日々、努力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



星野 聖和

- ①林産課
- ②R3/4/1
- ③アニメ・絵を描く
- ④先輩方の教を多く取り入れ、一日でも早く組合に貢献できるように日々精進したいと思います。よろしくお願いいたします。

森林とともに80年

# 森林保険

台風や集中豪雨、火災など万が一の災害に備えることができます。

森林保険は、「森林保険法」(昭和12年法律第25号)等に基づき、森林所有者を被保険者として、森林についての火災、気象災、噴火災による損害を総合的に補償するものです。森林所有者が自ら災害に備える唯一のセーフティネットです。

〈保険金のお支払いの対象となる8つの災害〉

火災 風害 水害 雪害  
干害 凍害 潮害 噴火災

お問い合わせは、お近くの森林組合、または森林組合連合会へ

群馬県森林組合連合会：〒379-2153 群馬県前橋市上大島町182-20  
TEL:027-261-0615 FAX:027-261-0697

### 森林組合人事異動(課長級以上)

県内森林組合における人事異動等(管理職以上)がありましたのでご報告いたします。(敬称略)

森林組合	氏名	新職名	旧職名	備考
下仁田町森林組合	神澤 義栄	指導課長 兼 石淵貯木センター長	石淵貯木センター長	昇任
赤城南麓森林組合	塚越 里美	総務部長	総務課長	昇任
	石塚 征人	事業部長	事業課長	昇任
	大塚 則幸	事業課長	事業課 事業係長	昇任
	樺澤 勝	総務課長	総務課 総務係長	昇任
碓氷川森林組合	松下 敦洋	参事兼総務課長	総務課長	昇任

### 群馬県環境森林部人事異動

群馬県では、4月1日付人事異動を発表した。

環境森林部の所属長等の主な人事異動は以下の通り(敬称略、カッコ内は前職)

- 坂田 達也 環境森林部環境政策課長(総務部危機管理課長)
- 栗原 宏政 環境森林部自然環境課長・尾瀬保全推進室長(地域創生部地域創生課土地・水対策室長)
- 天田 雅之 環境森林部森林局森林保全課長(桐生森林事務所長)
- 東田 健靖 環境森林部森林局林業振興課林業担い手対策室長(環境森林部森林局森林保全課緑化推進主監)
- 中村 和詳 藤岡森林事務所長(環境森林部森林局林業振興課次長)
- 佐藤 淳 吾妻環境森林事務所長(藤岡森林事務所長)
- 黒沢 勉 利根沼田環境森林事務所長(環境森林部森林局林政課経営管理課室長)
- 笛木 元之 桐生森林事務所長(環境森林部森林局林業振興課きのこ・林業担い手室長)
- 武田 将幸 林業試験場長(吾妻環境森林事務所長)

#### ◆林業団体係→担い手対策室経営強化係へ

なお森林組合系統の指導担当であった林業振興課林業団体係は林業振興課担い手対策室経営強化係に改編された。

#### ●経営強化係

- 補佐兼係長 新井 浩之
- 副主幹 林 栄津子
- 技師 鈴木 佐和子

### 県森連 人事異動及び機構改正

県森連人事異動 県森連の人事異動が4月1日に次の通り発令となった。(敬称略)

氏名	新職名	旧職名	備考
田村 進	木材部渋川県産材センター所長 兼販売課販売係長	木材部渋川県産材センター所長	異動
渡邊 陽一	木材部販売課課長代理 兼桐生木材ヤード所長 兼麻生木材ヤード所長	木材部販売課課長代理 兼販売課販売係長 兼桐生木材ヤード所長	異動
桑名 秀昭	森林整備部購買課課長代理 兼購買係係長	森林整備部購買課購買係係長	昇任
江角 春佳	総務部総務課会計係主任兼総務係主任	総務部総務課会計係技師兼総務係技師	昇任



